

★思考と言語研究会 (TL)

専門委員長 鈴木雅実 副委員長 久保村千明

幹事 富田英司・森下美和 幹事補佐 坪田 康・神長伸幸

日時 3月21日(火) 10:00~17:15

会場 名古屋国際センター3階第1研修室(名古屋市中村区那古野1-47-1 名古屋国際センター3F. <http://www.nic-nagoya.or.jp/japanese/nicnews/aramashi/nicaccess>)

議題 テーマ1: 知能・学習・教育, テーマ2: 思考と言語, 一般

1. 遠隔地の英語話者によるプレゼンテーション評価の検討 ○坪田 康(京都工繊大)・工藤由美子(QQ English)
 2. 意味論的構文解析における多重意味展開(MSE)の手法とその実装 高田明典(フェリス女学院大)
 3. 悪口投稿検出におけるソーシャルテキストの特性を考慮した仮想教師事例作成 ○河原裕樹・乾 孝司(筑波大)
- 午後
4. パターンタスクを用いた協調的な集団行動における意図調整過程の分析
○糸田孝太(慶大)・渡邊紀文(AIIT)・武藤佳恭(慶大)
 5. 乱数生成課題は青年期の精神年齢尺度になりうるか? ○板垣文彦(亜細亜大)・伊藤憲治(東京医療センタ)
 6. 日本語書字障害の認知・行動特性に関する調査 杉本明子(明星大)
 7. 感情的反応についてのコーパス構築と単語の傾向分析 ○竹内 瞭・徳久雅人・木村周平(鳥取大)
 8. 俳句と物語の間 新田義彦(日大)
 9. 英語表現分類体系を用いた英語学習支援サイト 宮崎正弘(ラングテック)
 10. それでも人が正しく訳さなければ—機械翻訳の品質について— 岩垣守彦(ALR)
 11. 機械翻訳における同義性・多義性の諸問題—英語汎用動詞の和訳を中心に— 佐良木 昌(ALR)